



## 菅沢ダム見学会

平成30年8月27日に、福生西公民館(米子市環境を良くする会)の皆さんが菅沢ダムに来所されました。2階展示ホールでは、菅沢ダム建設当時の映像視聴のほかダムの役割、機能について説明させて頂きました。

また、ダムの内部では放流設備を視察されました。急な階段を徒歩での移動にビックリされていました。



(ダムがないと)

(ダムがあると)



大雨で洪水が起こる



水不足で作物が育たない



ダムで水を貯めて少しずつ放流する



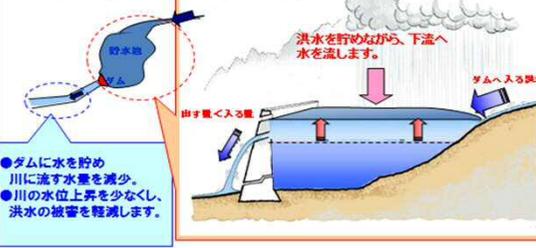
ダムの放流によって水不足にはならない

## 9月の菅沢ダムの水位について



### ダムによる洪水調節の仕組み 洪水を貯め込む

大雨が降り洪水になると、ダムへ流入する洪水の一部を貯水池に貯めダムから水を流します。



- ダムに水を貯め川に流す水量を減少。
- 川の水位上昇を少なくし、洪水の被害を軽減します。

菅沢ダムでは例年9月1日～30日までの間は、年間を通して一番水位を低くしています。これは、台風や秋雨前線等に備え、あらかじめダムの水位(水面の位置)を下げておき、ダムに入ってくる水の量を調節しダム下流域の被害を軽減するために行うものです。



堆砂土砂撤去箇所



堆砂除去作業

ダム湖内の堆砂除去を行い洪水調節容量の確保に努め治水安全度を向上するために作業を行っています。

常用洪水吐き主ゲートを点検するときに使用します。

常用洪水吐き  
予備ゲート



予備ゲートを下げ、その後、放流管の中の水を抜き主ゲートや放流管の点検を実施します。

